

集会案内

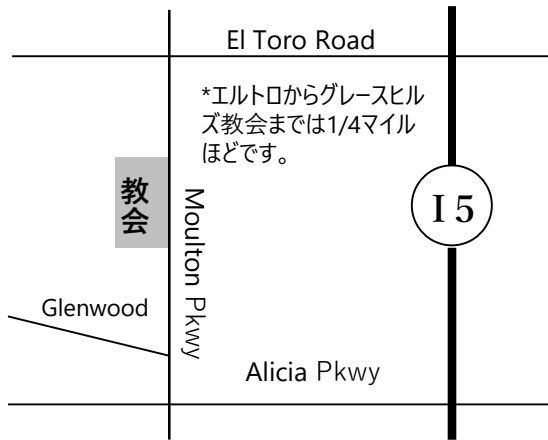
毎週日： 祈 禱 会 1 : 1 5 p m - 1 : 4 5 p m
礼 拝 2 : 0 0 p m - 3 : 2 0 p m
茶 菓 3 : 3 0 p m - 3 : 5 0 p m
聖書研究 4 : 0 0 p m - 4 : 5 0 p m

毎月1回：家庭集会 ラグナ・ウッズ、又はアーバイン
10 : 30 a m ~ 昼食

教会住所： c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637

- ◎ 私達の礼拝は第1バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ◎ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。
- ◎ 13年前に始まった日本語教会です。どなた様もお気軽にお出かけ下さい。

教会の地図



ホームページ: www.irvinihongokyoikai.org

 Irvine Nihongo Kyokai

連絡先:

杉村 宰 牧師 電話: (714) 527-1456
Eメール: sugimura1950@gmail.com
田畑 彰 牧師 電話: (949) 701-6502
Eメール: mt.moriya77@gmail.com

◎石叫□ 「傷ついた親子に幸せを」①
今回はNHK『プロフェッショナル』(二〇一八年十一月五日放映) から、友田医師の信念が家族を幸せに変えてゆくのだが、その確固たる信念に脱帽だ。
その医師の元には子育てに悩む親たちが次々とやってくる。その医師は不安を明るく受け止め、必ずこう口にする。「お母さん大丈夫よ。お母さんの不安をここで捨てていって欲しいのよ」。その医師の名は友田明美、小児神経科医(五十七歳)である。傷ついた心を癒せなかった三十代。患者が次々と去っていった。医師としてできることは何かを考えさせられた。そして今、心の叫びに向き合う執念の医師でもある。友田は福井大学医学部付属病院「子どもの心診療部」に勤める。深刻な問題を抱えた親子に、友田は気さくに話しかけ、どんな些細な事でも目いっぱい褒める。「お子さんを褒めることによって一瞬目がキラキラと輝いたりする。認めてあげる作業って、いうのをやってあげて、自己肯定感が上がっていく」。子供が話しやすい雰囲気を作るため、白衣は着ない。友田が大切にしているのが診察での対話だ。「お子さんの心の傷をいやすってというのは時間がかかります。少しずつ深い根雪が解けるように」。本場の問題は行き過ぎた親の子育て、マル・トリートメント(不適切な養育)にある。しかし友田は決して親を責めない。そして自らの失敗談を語る。「私なんか相当失敗してきましたよ。頭ごなしに怒ったり、『早くしなさい』って一日十回以上も言ったり、ありとあらゆる失敗をしてきたので、お母さん、完璧な親を目指す必要はないんじゃないかしら」。友田には揺るぎない信念がある。それは「親が変われば子は変わる」である。「親が元氣になれば子どもが元氣になる可能性がある」。
「傷ついた子どもたちを救いたい」との思いから、友田は二十八歳の時、小児神経科医として診療を始めた。その中で一つの出会いが友田を変えた。ある女の子が突然学校に行けなくなった。家では父親の娘への体罰が日常的に行われていた。父親は当時会社でリストラにあっていた。友田は言った。「お母さん、お父さんがやばいよ。お父さんの話を聞いてあげて!」。自らも痛みを知ったからこそその言葉だった。やがて父親は再就職。女の子も回復し学校に通えるようになった。そこから友田に信念が生まれた。「親が変われば子が変わる」。

Rev. Susumu Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。